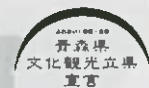


# 十和田市立 新渡戸記念館だより



館長の先導で太素塚参道を歩かれる両殿下（撮影・和田光弘氏）

7月28日



## 秋篠宮殿下 同妃殿下ご来館

市民約1000人が太素塚でお出迎え



館内にて（撮影・十和田市広報）

7月28日秋篠宮殿下、同妃殿下は三本木農業高校で開かれた全日本高等学校馬術競技大会式典にご出席の後、午前11時50分から約40分間当館を見学されました。開拓時代の測量具・方位器について「これは今も動くのですか」とご質問されたり、開拓が安政2年に始まった事を聞くと「安政の地震の時はこちらもゆれたのですか」とお尋ねになるなど、大変興味を持たれた様子でした。

### 明治時代から現在まで十和田市にお越しの皇族方

- 明治9年(1876) 明治天皇・東北御巡幸(三本木新渡戸邸でご休息)
- 明治14年(1881) 明治天皇・東北御巡幸(三本木新渡戸邸が行在所)
- 明治41年(1908) 皇太子殿下(後の大正天皇)
- 昭和24年(1949) 高松宮殿下・国営開墾事業御視察(新渡戸文庫お成り)

- 昭和29年(1954) 三笠宮殿下・馬術大会(新渡戸文庫お成り)
- 昭和37年(1962) 秩父宮妃殿下・日赤社員大会等(太素塚お成り)
- 昭和41年(1966) 皇太子殿下、同妃殿下(現天皇、皇后)・全国高等学校総合体育大会

### 太素顕彰会会長に 十和田市長中野渡春雄氏が就任



#### 太素顕彰会会長

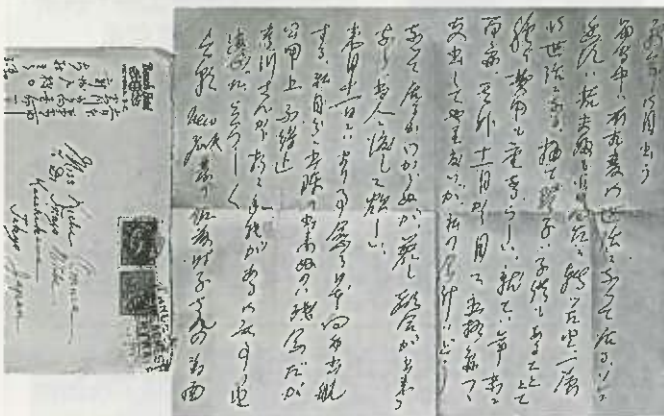
十和田市長 中野渡 春雄

市民の皆様には、日頃より太素顕彰会の事業に多大なご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。当顕彰会は、三本木原開拓の祖・新渡戸傳翁をはじめとする先人たちの偉業を顕彰し、永く後世に伝えることを目的に活動を展開しております。各種事業の企画、資料の収集、公開展示、情報誌の発行等々を積極的に行い、親し

みをもって十和田市の歴史にふれていただけるよう努めて参りました。また秋篠宮ご夫妻のご来館に見るように、新渡戸記念館では県内外からたくさんの観覧者をお迎えしております。7月19日には青森県において文化観光立県の宣言が行われましたが、これは地域特有の歴史や文化を改めて見つめなおすとともに、観光資源として活用していこうというものです。太素顕彰会においても、そのことを十分考慮に入れた活動を展開したいと考えております。

もとより微力ではありますが、水野前会長の意志を受け継ぎ、十和田市発展のために全力を傾注する決意でありますので、皆様方の変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

### 新収蔵資料から



便箋・縦21.0×横27.0 封筒・縦9.5×横16.5 (cm)

### 新渡戸稲造博士の書簡

この手紙は稲造博士がカナダのプリティッシュ・コロンビア州ビクトリアより、東京の博士宅で留守を守る執事・大村吉さんに送ったものです。昭和8年(1933)1月9日付け(消印1月10日)で、博士は昭和7年4月から翌年3月まで、日米関係改善のためにアメリカ、カナダ各地で講演を行なっていましたので、この講演旅行中に出したことが分かります。手紙には大村さんへのねぎらいや細かい指示、博士の近況等が書かれています。博士は同年8月太平洋問題会議に出席のため再びカナダに渡り病に倒れ、10月ビクトリアのジュビリー病院で亡くなりました。

### 太素塚・記念館の整備が行われました

#### 記念館内をリニューアル

秋篠宮殿下、同妃殿下をお迎えするにあたって、改修が必要といわれていた記念館の内装工事をを行いました。6月22日～7月6日まで臨時休館し、館内壁面の塗り直しや、カーペットの張替えを行いました。壁面は明るい白、天井とカーペットはグレーと落ち着いたコーディネートにすると同時に、照明も明るくして、見学しやすい環境作りを心がけました。



一階



二階

### あんざいしよ 明治天皇行在所碑を太素塚に復元

太素塚鳥居型門、向かって左側に「明治天皇三本木行在所碑」を復元しました。この石碑は明治14年(1881)明治天皇が東北御巡幸で三本木にお越しになった折、新渡戸邸が行在所となったことを記念して昭和8年(1933)新渡戸邸前(現・稲生町6丁目東)に建立されたものです。昭和16年(1941)の大火で新渡戸邸が焼失した時にこの石碑も猛火をあびて、ばらばらに割れてしまいました。その後石の破片は新渡戸家に保管されていましたが、平成7年(1995)より記念館に展示。この度57年ぶりに復元しました。まだ石碑についての案内板がありませんので、整備していかなければと考えています。



### 昭和16年の三本木大火

昭和16年(1941)5月12日午前11時20分稲生町七丁目の黄金湯から出火した火災は風速13メートルの風によりたちまち燃え広がり、午後3時30分鎮火するまでに稲生町東側を中心に697戸が焼失、三本木の歴史に残る大惨事となりました。東奥日報社「三本木大火写真集」より



# 青森県文化観光立県宣言記念イベント

## ふるさと発見セミナー

### 十和田市民文化センターで開催

#### 7月25日～30日

7月19日に行われた文化観光立県宣言記念イベントとして、十和田市民文化センターで「ふるさと発見セミナー・開拓の申し子稲造」を開催しました。新渡戸記念館も実行委員会の一員として協力し、特に記念展「新渡戸稲造かるた・CARTA-歌でつづる稲造の世界」の企画、展示を行いました。

## 記念展 新渡戸稲造かるた・CARTA 開催

今年には稲生川上水140年にあたることから、上水記念事業として当館も「ふるさと発見セミナー」実行委員会の一員となり、展示部門を担当しました。期間中、文化センター大ホールで開催された稲造杯弁論大会、記念講演、九月とアウラーの音楽劇などと平行して、一階展示室で展示を行い、約1000人の見学者がおとずれました。稲造博士の好んだ和歌、自作の和歌などを切り口に、博士の業績をたどる今回の記念展は、「かるた」をモチーフとして、それぞれの和歌を32枚の大きなかるた型パネルにしました。中でも特大かるた(70×80センチ)12枚は天井から吊るし、動きのある楽しい展示を心がけました。



◀展示室入口



博士の歌などが大きなかるたに



▲松川成夫東京女子大学名誉教授による記念講演

◀九月とアウラーによる音楽劇「I NA Z O-太平洋を渡った男」

また展示期間中、文化協会各サークルの方々にボランティアとして協力していただき、パネルと合わせて当館所蔵の稲造博士直筆の書、愛用品など43点、市内・的場秀浩氏、羽入重八氏所蔵の博士直筆掛け軸各一点(通常当館に展示)を展示しました。さらに東奥日報紙で7月18日～22日まで5回にわたって関連記事を連載しました。



愛用品や博士号ガウンなども展示

## 文化観光立県宣言カウントダウンイベント 市の火「開拓の火」太素塚で採火

7月19日三内丸山遺跡において、木村県知事が文化観光立県宣言を行い、同時に県内各区地から集められた「県民の火」の篝火着火式が行われましたが、十和田市の火は「開拓の火」として7月17日に太素塚墓碑前で洋式火打石をつかった採火式を行いました。開拓の火は馬車で



▲太素塚墓前での採火式(採火する館長と、トーチをもつ斎藤前助役)

官片街通り桜の広場に運ばれ、そこで上十三地区の火を1つに集めるイベントが開催されました。

この日はたくさんの馬が太素塚にあつまりました



### ありがとうございました

市内・村上務氏より  
さつき 2本を寄贈頂く

現在太素塚境内の再生のために、低木や下草を植え、土壌改良に努めています。頂いたさつきもさっそく太素塚境内に植えさせていただきます。



市内の人形師・川口三男氏より  
稲生川工事の様子を再現した人形6体を寄贈頂く

この人形はふるさと発見セミナー記念展に出品していただきました。その後は記念館に寄贈していただき館内に展示しています。



### 関連情報

● 相坂川左岸農業水利事業所のご厚意により、館内に来館者用コンピューターを設置

相坂川左岸農業水利事業所のご厚意によりコンピューターを借り受け、来館者用として設置しました。インターネット等への接続はしていませんが、水利事業所と北里大学獣医畜産学部の共同制作ホームページ「三本木原開拓博物館」をオフラインで見ることができます。  
※上記ホームページのアドレスは

<http://www.jomon.or.jp/~aisaka02/sanmuse.htm>

● 市内各所に設置の地名案内板作成に協力

「初田」「会所」など、三本木原開拓時代に名付けられた地名を中心に、由来等を伝える案内板が十和田市により市街各所に設置されました。作



### 〈編集後記〉

長い間の念願であった館内並びにトイレの改修工事と演舞場の取り壊しが完了しました。慶応元年検地絵図や稲造博士関係の新しい資料を展示し、すっかり装いを新たにした市立新渡戸記念館と広々と趣を変えた太素塚にお出かけになりませんか。

成にあたって記念館も資料提供などの協力をしました。

● 7月1日～9月30日までの来館小学校

(十和田市) 東小学校/ちとせ小学校/松陽小学校 (八戸市) 聖ウルスラ学院小学校/湊小学校/是川小学校/江南小学校/高館小学校/柏崎小学校/長者小学校/城下小学校/八戸小学校/新井田小学校/根城小学校/鮫小学校/江陽小学校 (青森市) 横内小学校 (五戸町) 南小学校 (名川町) 剣吉小学校

● 慶応元年検地絵図他軸装が完成し館内に常設

昨年の太素祭で初公開した「慶応元年検地絵図」の軸装と、「稲生橋の銘」掛け軸の補修がこのたび終わり、一階壁面に展示しています。



### 活動報告

● ふるさと発見セミナー記念展開催 (詳細は3面)

● 館長講演

館長を講師とした講演が各所で行われました。

6/26青森県精神保健福祉大会(十和田市富士屋ホテルGH)

9/9第32回農業土木学会研修会(青森厚生年金会館)

9/24県博等協議会研修会(十和田市民文化センター)

● 太素顕彰会評議員会

平成10年度太素顕彰会評議員会を9月9日午後3時より十和田市中央公民館で開催しました。太素顕彰会会長・中野渡春雄十和田市長が議長を務め、稲生川土地改良区理事長・丸井彪氏、十和田市議会議長・野月忠見氏に対し、新評議員の辞令が交付されました。ついで平成9年度事業報告及び収支決算、ならびに平成10年度補正予算(案)について審議が行われ、原案通り可決されました。

単位認定講座



当館での学習は、青森県の生涯学習プログラム「あおもり県民カレッジ」の単位として認められます。県民カレッジについてのお問い合わせは、同事務局へ(TEL0177-62-1131)

発行 太素顕彰会

十和田市立新渡戸記念館

〒034-0031 青森県十和田市東三番町24-1

TEL (FAX) 0176-23-4430

印刷 有限会社 岩間印刷所